



2024年6月14日

各位

会社名 株式会社アイドママーケティングコミュニケーション  
代表者名 代表取締役 蛭谷 貴  
(コード番号：9466 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役常務 経営管理部長 中川 強  
(TEL. 076-439-7880)

## 上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2024年3月31日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間について

当社は、2024年3月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況について下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。流通株式時価総額に関して、2025年3月末までに上場維持基準を充たすため、各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	3,492人	42,416単位	9.9億円	31.37%
上場維持基準	400人	2,000単位	10.0億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	○	—
計画期間	—	—	2025年3月31日	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値を乗じて算出しております。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

##### (1) 基本方針

当社は、スタンダード市場上場維持基準の適合に関して、「株主数」、「流通株式数」及び「流通株式比率」については基準値を満たす数値を維持しておりますが、「流通株式時価総額」が基準に達しておりません。そのため、当社は「流通株式時価総額」の基準値である10億円を目指し、持続的な成長と企業価値（当期純利益）を向上させることで、流通株式時価総額の増加を図り、上場維持基準への適合に向けて取組んでまいります。

##### (2) 課題

流通株式時価総額が基準値を下回っている理由につきましては、業績の悪化による株価低迷と配当政策が主な要因であると認識しております。

### (3) 取組内容

#### ①企業価値の向上

新型コロナウイルスの影響やウクライナ情勢等により、小売業の販売促進活動の停滞、さらには、資材等の高騰の影響があり、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。このような状況の中、当社は、マーケティングとクリエイトとデジタルを融合させ、流通小売業様と消費者様をつなぐサービス「オールメディアプロモーション」を軸に営業体制を強化して、新規クライアントの開拓に注力することにより、売上、利益の拡大を図ってまいります。

販売促進支援サービスを推し進める中、流通小売業のデジタルシフトにも対応すべく店舗内の販促ツールとしてのデジタルサイネージ・人手不足解消のための電子棚札の導入支援、幅広い層へのアプローチを可能とするSNS運用等、サービスラインナップを充実させ、更なる売上の拡大を目指してまいります。

#### ②株主還元の実策

株主還元につきましては、重要な経営課題として認識しております。健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保とのバランスを図りながら、各期の経営成績及び財政状態を勘案して、当面の間、年間連結配当性向50%を基準として、継続的かつ安定的に剰余金の配当を行うことを基本方針とし、株主還元の充実に努めてまいります。

#### ③IR活動の強化

当社の株価が低迷している一つの要因として、当社のIR活動が東京証券取引所にて定められている必要最低限の情報開示であり、市場における認知度や期待度が低迷していることが原因だと認識しております。今後はより積極的な情報開示に努めると同時に、当社ホームページの見直しを行い、株主の皆様からも当社グループの状況や実績が分かりやすく伝わるページの新設や内容の充実に努めるなど、様々な検討を行ってまいります。

以上